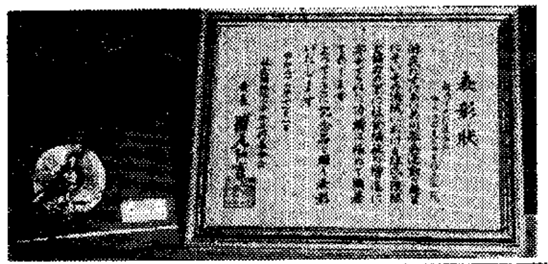
なかさ東

毎月一回15日
定価　1部5円
発行所
中里村公民館
現在人口
男　4,616
女　4,622
計　9,238
世帯数　1,684

全国表彰に輝く

赤い羽根共同募金の村

新潟県共同募金会中里分会（高橋幸作会長）は共同募金運動発足以来十五年間、連続県下のトップを切って「赤い羽根共同募金」の目標額を完納、その充実した運動の推進を讃えられ去る十一月一日、東京で開かれた全国社会福祉大会において中央共同募金会長から晴れの表彰を受けた。



【写真は中央共同募金会長の表彰状と楯】

中里村の共同募金は、他団体が七、八十%を戸別募金に頼っているのに比較し、映画興行募金を主軸として、部落会、婦人会、青年会等の積極的な協力を得、全村民総参加のもとによくこの奉仕精神を理解した点に特色があり、意義がある。興行募金は娯楽に恵まれない地域に一石二鳥の効果を発揮し、街頭募金は人出の多い時期を選ぶ等運動の進め方に工夫をこらし、募金運動の本来あるべき社会運帯の真価を発揮せしめたと云える

過去五ヵ年間の実績は次の通りであり、心のこもったこれらの浄財は税金でまかなわれない民間の社会事業施設団体や、恵まれない人々に専門の審査機関（県共同募金会）を通じて寄附される仕組みになっている。

年次	目標額	実績額	達成率
32	七二、六〇〇	七八、五二〇	一〇八・二%
33	七二、六〇〇	九二、八二四	一二七・九%
34	八二、三〇〇	九四、五九九	一一四・九%
35	九三、三〇〇	一〇四、〇四二	一一一・七%
36	一三六、三〇〇	一三七、三九九	一〇一・一%

又、この実績額の約三分の二は地域福祉費として村に還元され、歳末援護、困窮者援護、福祉団体助成、季節保育所補助等に充当されている実情にある。

今回の受彰は住民一人一人の頭上に輝くものであることは勿論であるが、この運動の発足以来陣頭に立って献身的な努力をはらわれた元民生委員広田義一氏（六三）現民生総務大島孝平氏（六七）の功績は偉大なるものがあることを特筆しなければならない。

第四回　臨時村会開かる

去る十月十八日招集された臨時村会は次ぎのような議決の外特に町村合併の動向についての態度を協議した。

議決事項

①十日町―新潟間準急気動車設定に伴う鉄道債券の譲渡契約をとりかわし、本年度五十万円の債券を中里村が引受けることゝなり、中里村はこの債券を更に第四銀行に引受けさせ、応分の利子負担をすることゝなったこと。

②民衆火災による村税等の減免を認めたこと。

③田沢中学校屋体附属建物（昇降口、水呑場、便所、吹抜渡り廊下等）新築工事施行は年度内に請負契約を締結し、予算外義務負担を生ずるものとしたこと。

④程島山村振興林道工事（請負金額三〇六万円）の請負契約締結の承認を得たこと。

⑤一般会計第五回追加更正予算は産業経済費の国県財源の変更により一二五千円の更生減となり、累計総額一一〇、三九七千円となったこと。

桔梗原土地改良区総代選挙無投票と決る

桔梗原土地改良区総代一般選挙は十二月十日任期満了のため十一月二十五日執行予定で告示されたが立候補〆切の十五日現在定数の四十一人にとどまったので無投票となった。立候補者は次のとおり。

第一区（定数八人）南雲作重郎、古高豊策、高野正光、根津常三郎、渡辺豊作、渡辺増蔵、広田金作、阿部喜一

第二区（定数九人）石沢万平、大島一義、石沢今朝松、大島幸作、樋口健治、小巻沢栄、上原甚作、樋口一雄、樋口進

第三区（定数七人）吉楽時平、吉楽利男、吉楽富徳、上原善五郎、上原国由、樋口朝魚、広田清

第四区（定数九人）樋口正平、樋口八十吉、樋口林平、江口平五郎、江口俊一、広田正信、服部政平、樋口武男、樋口軍蔵

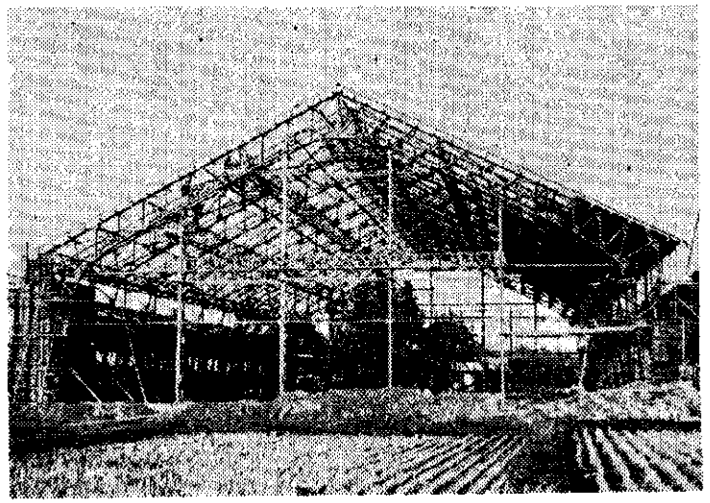
第五区（定数八人）広田要吉、広田孝、樋口宏、樋口秀夫、服部武男、滝沢重義、井ノ川徳明、南雲栄一

田沢中屋体工事

はかどる

去る七月一日着工された田沢中屋体改築工事は順調にすすみ、すでに本屋鉄骨部分の組立てが終って、十五間×二十五間の大加らんが出来上った。

既報のとおり工事は一応今年一ぱいで完成することになっているが、関係者の話では、工事は初冬をひかえて急ピッチですすめられており、内部仕上げ工事などが若干おくれるが、大体予定どおり完工させるといっているので、新年早々新しい体育館で生徒たちは運動ができるわけである。



秋空にそびえ立つ田沢中屋体の本屋鉄骨（11月7日写す）

役場職員人事

（十月以降発令分）

▽異動（　）内は旧所属係

教委　羽鳥　直嗣（税務）
税務　井ノ川洋一郎（厚生）
国保衛生　南雲千代子（学校組合）
厚生　樋口　モト（国保衛生）
国保衛生　鈴木　卓郎
税務　村山　昭平
総務　村山　正光

▽新規採用

土木　阿部ミツエ
税務　藤田　睦
総務（電話交換）滝沢　ハマ
嘱託　南雲　辰巳

いたち考

上原紫紅

「人の身の凶をおし立て飛トンと跳びまわっている。面白い（うらない）の道を横切るいたちかしこし」と、古歌にもうたわれているように昔からいたちは、なかなか利口な動物だといわれている。私はべつにいたちにつきあいもないし、化かされたこともまだないが、知人にはいたちにひどい目にあわされたという者が何人かいる。晩秋から初冬へかけていたちの活躍する季節だ。落葉して晴れた日など萱刈りに山へ出かけると、小さな流れのほとりなどでカサカサと跳びまわっているいたちをよくみかけることがある。そして知人の話ではそんなとき何かのひょうしで妙な手ぶりで踊るいたちの芸当を見ることができるという。

これは私の父からきかされた話だが、明治の始めの頃、祖父が小千谷の方からほしこを一俵（十六貫匁入れ）仕入れてきたことがあった。十二月中旬で初雪が降った明け方のこと、まだ父が五つか六つぐらいのころのことで便所へ行くため寝床から起きてみると、ジロ端を二匹のいたちが片手を額に、片手は腰にあてて後足で立ちピョンピョンと跳びまわっている。面白いのでしばらくじっとみていたがいたちは平気で踊りまわっている。便所へ行って用を済ませ、帰って来たがまだやっている。父はまだ子供のことだからそのまま寝床にもぐりこんだ。祖母がチラッと目をさましたので、「猫が二つして踊っていらァ」というと、祖母はほしこのことがピンときた。「なんだと猫だと」といいながら起きて出て部屋のタレ（ムシロを戸の代りにぶらさげたもの）をそっとまくり上げて見ると、二匹のいたちがツイスト？を踊っている。ビックリ仰天、祖父を起して箱まくらをパッと投げつけると、キチッ〳〵と鳴きながら流し場から外へ逃げ出してしまった。まず気にかかるのは、ほしこ俵のこと。座敷のすみに置いてあるので行ってみると、ほしこ俵は影も形もなくなっている驚いて家の中を探すと台所の流し口まで引っぱっていってそこでつっかえて外に出せないでいたそうな。あまりでっかくない猫ほどのいたちが二匹で十六貫の俵を二間半も引っぱった力には、祖父も祖母もあらためて驚いたそうだ。ほしこはさいわい一尾も食われていなかったそうである。いたちにまつわる作り話しは沢山あるがその中から一つ。

昔、通り山にTと言う馬喰があった。市の越のSどんで馬を入れ替えてくれと頼まれ、十一月のある晴れた朝早く馬を曳いて家を出た。通り山の坂の下まで行くと、石垣の間へ小さないたちがチョロ〳〵と飛びこんだ「コン畜生ッ」といいながらいたちの入った穴を石でふさいで杉の葉を掻集め積みかさねて火をかけた。もう〳〵といぶる煙にむせてクン〳〵キチ〳〵とクシャミをしたり鳴いたりするのをかまわず燃やすと、穴の中でいたちは苦しまぎれに石垣の裏石をガラ〳〵とかき崩してどこかへ逃げ去った。馬喰は再び馬を引いて坂の上まで登るとさっきのいたちが前にヒョッコリと現われて自分の尻をポン〳〵と叩いてかたわらの薮の中にかくれた。「畜生めさっきの仇打ちに俺を化かす気だナ」どんなことがあっても化かされまいと緊張して上山ッ原を登って行った。寺河原の石橋までなにごともなく行くと、向こうから高道山のKどんという飴菓子や覗きからくりを商売にしている爺さんがやってきた。知らぬ仲でもないのでいろ〳〵立話をして行き交うとたんに馬が跳ねてK爺さんの背中の荷物をけとばしてしまった。爺さん畑の中へひっくり返って飴や菓子は散乱し、覗きの機械は投げ出されてこわれてしまった。K爺さんは烈火の如くに怒り、いくらあやまっても許してくれないのでさんざん詫びてやっと許してもらい覗きの機械の修繕する手伝いを命ぜられた。馬喰が覗いているとK爺さんが機械の調子を合わせる。やっとなおった。「次は八百屋お七の火あぶりとござァい」いやその面白いこと。一方市之越のSどんでは待てども待てどもT馬喰がこないので、夕方山崎へ貨物もあるので下ってくると寺河原の芝ッ原でT馬喰は馬の小便と糞にまみれて馬の尻を一生懸命覗いて喜んでいたという。

濁酒（どぶろく）のことをいたちといってこれに酔うといたちに化かされたように悪酔や前後不覚になるというが、最近はいたち酒がなくなって化かされ好きの筆者など張合いがない。

いたちは、進退極った場合に最後っ屁という物凄く臭いのを放って九死に一生を得るという。屁をひって命を助かるなどユーモラスな動物である。

槌の音

農家の嫁の周囲

農家に嫁の来てがないという。昔は嫁を農家の労働力としてもらった。「年をとったしオバも嫁にくんなければならネースケ嫁でも貰うか」。暗いジロ端での思案がやがて進展したのであろう。

さて今日はどうか。

一応本人同志がよければと言うものの、親にも大方条件ならざる願いがある。先づ機が織れて、おとなしくて健康で、百姓の手伝いがチットバカ出来る。その要因はどこにあるか。勿論、農業収入だけでは御時不並みの生活が出来ないからだ。

出稼ぎ形態を見ても、戦後次三男は一斉に食いのばしと称して純朴な農村に良かれ悪しかれ新しい風潮を導入、年よりをなげかせた。それが二十六年頃からこれではという目覚めから、家庭経済第二主義の社会勉強へと変り、こゝ二、三年は、長男も一家の亭主もないセッセと秋仕末をすませ、後は「気をつけてナ」と妻や嫁にまかせて出る。五反百姓に軒並み耕運機、テレビ、電気洗濯機が入った御時世に対応？してである。嫁は夫のいない長い冬を、淋しく上げ膳すい膳にせよ、姑の昔流の変化に乏しい栄養の少い食事を気兼ねしつつ朝早くからら夜おそくまで冷いコンクリートの機場で立ち通し騒音との連日の争いで家業廻しを手伝う。この嫁の頭の中に何が考えられるだろうか想像は難くない。こういう環境では余程周囲の理解がないと健全な子供を生むことは出来ないだろう。

ともあれこの嫁たちの多くに浮腫、尿中蛋白が検出されている。村は挙げて「母子の健康を守ろう」と集中、あらゆる角度から対策を進めているが、一面に不可侵のこの種の問題に頭を痛めている嫁に来てがないと言うより個々がこんな環境を温く改善することこそ、楽しい農村を造る第一段階でなかろうか。

（小柳定夫）

文化祭俳句展入選句

一般の部

天位　下山　あきの
学ぶ子の帰省待つ部屋菊匂う

地位　通り山　千代野
秋晴れの何かと声の高かりき

人位　上山　古高シゲオ
健やかな祖母の瞳に焚火映ゆ

五客　清田山　藤田キクノ
庭の籾入り陽に赤く鶏の舞

新屋敷　阿部　清枝
八海に稲あぐ日和占って

千溝　広　田
名月を仰げば老の母想う

上山　古高　勇
旅立った娘の香り菊の花

姿　大島　玄斉
滝もよし谷も又よし夕紅葉

学童の部

天位　貝野中　柳　てる子
いちぶくの割れ目に蟻の雨やどり

地位　貝野中　井ノ川正一
青き水紅き一葉流れ去り

人位　貝野中　保坂ミツイ
おさな児の背中に一つ稲をおち

五客　貝野中　南雲美代子
腰まげて落穂を老婆拾うあり

貝野中　徳井　明子
秋深しお寺の鐘もいん〳〵と

貝野中　阿部　徳三
日暮れには稲をおう母老けて見ゆ

貝野中　川田オツエ
山の實で妹がつらねるネックレス

貝野中　南雲　昌子
息こめて引く大根の長さかな

実行したい 農用機械の手入れ

春の雪消えと共に、一年間よく働いてくれた農用機械も愈々静かにお休みになる時期になりました。とこで機械は作業こそお休みになるが、その格納前の手入れが充分でないと損耗の方は一向に休んでくれません。

▽先づ泥土が付着したままにして置きますと土に含まれている酸によって金属の部分は自然に腐蝕してゆきます。これは皆さんがよく経験しておわかりのことと思うが、泥土をつけて置くと錆や黴でもすぐ錆びてくる筈です。錆びとは酸化した現象です。格納前には必ず泥土をきれいに落して置くことを励行して下さい。機械の寿命が随分違ってまいります。

▽次にメッキ部分でないところでピカ／＼に光っている鉄の部分はオイルを軽く塗布して置けば更に防錆効果が一層よくなります。ある人が油をつけて置いたら却ってサビたという話をしていましたが、これは植物性の油をつけた為です。植物性の油は酸を含んでいるからサビるのです。必ず砿物性の油を使用することです。潤滑油か又はグリス類を塗布して下さい。

▽次に耕運機類は必ずベルトを外して置きましょう。ベルトは長期間張ったまゝにして置くと、自然の間にノビてしまいます。ベルトは外して新聞紙に包んで保管して置きましょう。

▽次に発動機関係としては点火栓を外した穴から良質の油を若干入れて空転（十回位）して置きましょう。これはシリンダの壁が錆びてしまうのを防ぐ為です。なお保管中、少くとも三～四回は空転を励行すれば尚一層防錆の効果がありますのでこれも実行しましょう。燃料タンク内に残っているガソリン、石油などは必ず全部出してタンクは空にして置くことを忘れないようにして下さい。これもタンクの防錆の為です。

▽次は車輪を両方外して車軸などの泥土をよく落して車軸にグリスを塗ってから車輪を装着して置いて下さい。その他注油個所には必ず注油を忘れないで下さい。なお各部をよく点検して破損故障個所のないように冬の間にセンター等を利用して充分手入れを実施して来春からの作業に差し支えないよう準備して置きましょう。

伸びゆく特産物

▼葉タバコ

今年はじめて栽培された葉タバコは極めて順調な作柄を示し、すでに収納も大部分終了し生産者はそれ／＼代金を受取ってホク／＼というところであるが、何分にもはじめてのこととて色々と困難な条件もあって一方ならぬ苦労もあったようだ。めぼしい所では十アール当り十万円の収入だったと聞けば苦労の仕甲斐もあったというもの。来年度は更に作付面積が増加するとか、とにかく最早初年度に於いて押しも押されもしない産物になったことはなんとしてもよろこばしいことだ。

▼雪下かんらん

葉タバコの後作として、これもはじめて導入作付けされた特産であるが作柄はこれ又順調に進み、おそらく来春は貨車に二車ぐらいは出荷できる見通しである。これは新潟県の特産として県も力を入れている作物で、価格も最底を保障され、安定作物として村としてもどん／＼伸ばしてゆきたいと考えているが、これは葉タバコの後作だけでなくだれでも作られる作物であるからどし／＼作っていただきたい。

▼花卉

世の中が平和であればあるほど人間は美しいものを求める。現在中里村に於いて花卉の栽培農家は少数だが、その収入は意外に大きい。特に注目されるものにドイツスズランがある。これは一昨年はじめて出荷されたが、目標は四十万芽位を一応考えている。そして田沢駅からオーストリアに向けて貨車で出荷できるようになったら国際的な村になるであろう。

和牛共進会催さる

中里村を優良和牛の生産地にする、目標をもって今年七月島根県から優良仔牛を約九十頭導入したのであるが、去る十三日桔梗原の稲荷様の境内でこの導入牛を中心として和牛の共進会が開催された。

当日は天候にも恵まれて盛会を極めたのであるが、審査長の講評によれば牛の資質はいずれも優秀であるが、まだ草資源の利用供給が不充分であり成育が標準より遅れているとのことであった。

入賞者は次のとおり。

一等　小柳新太郎
二等　高野軍治郎　樋口竜次
三等　竹藤徳長外七名

農地法のはなし（一）

農地の価値は耕作することによって生まれます。だから農地は耕作者が自分で所有することが一番望ましいことです。

農地法は耕作者の権利を保護し、耕作者が農地を買いやすいようにし、また安心して農業生産にはげんでゆけるようにすることを目的として、いろいろなことを規定していますが、その内容のあらましを問答式でお話ししてみましょう。それでもなおわからないことやくわしいことはいつでも市町村の農業委員会の事務所あるいは県庁の農地開拓課に遠慮なくおたずねなり相談下さい。

❶農地を売りたいのですが…たれに売ってもよいですか

農地法では農地（採草放地についても同じです）を買うことができる人を次のように制限しております。

（一）農地を買ってそれを自分で耕作するのでなければなりません。

（二）現在耕作している面積が三反歩（所によって多少異なります）以上でなければなりません。

（以下次号）

やさしいこれからの漬物

❶キャベツの芯のトウガラシづけ

キャベツの芯を薄く切って塩をパラ／＼ふって一夜おもしをします。水が上がったらキューとしぼり、醤油とミリンを半々に合わせ七味トウガラシを好みだけふり込んでつけます。普通一個のキャベツの芯は六人前位できます。量は各自適当に考えて下さい。

❷ダイコンのゆかりづけ

ダイコン一本は皮をむき一糎角切りにして塩大さじに一・五杯をふりおもしをして一夜おきます。水が上がったら水けを切ってシソの葉のみじん切りをまぶし、新たに塩大さじ一杯をふりかけつけます。一本で約六人前できます。

❸ゴボウのみそづけ

ゴボウは包丁の背で皮をこそげとり、なべに水約三竕、醤油一竕を入れてゴボウを入れてさっとゆでます。ほかにみそ約一瓩、砂糖大さじ三杯、ミリン大さじ三杯をよくかきまぜて、その中にゴボウを入れてつけます。コンブを少々入れると尚味がよくなります。材料ゴボウは五百瓦。

❹三味づけ

材料スルメ大二枚、にんじん十瓦、こんぶ二十瓦、スルメとこんぶは、はさみで細く切ります。にんじんは包丁で細くきざみます。この三種を「つぼ」か「広口びん」に入れて醤油大さじ三杯、酒大さじ五杯、七味トウガラシを少々ふりかけておきます。酒のさかなにもよいでしょう。

第二回

中里村母子大会

十一月二十七日

第二回中里村母子衛生大会は昨年と同様、村の赤ちゃん及び三才児のコンテスト表彰と併せ、十一月二十七日午前九時三十分より田沢映劇において連合婦人会後援のもとに実施されることになった。当日は育児についての記念講演、慰安映画など内容が豊富にも盛り込まれているので多数の母親たちの参加がのぞまれている。

田沢中科学クラブ

学生科学賞優秀賞に入選

田沢中学校科学クラブ（指導竹内実先生）の南雲治一君（三年）林正一君（三年）服部芳雄君（三年）高井忠義君（三年）の四名が「雪の研究」でこのほど第六回新潟県学生科学賞（県教育委員会、県科学技術教育振興委員会、読売新聞社主催）の中学の部の優秀賞に入選、去る十一月三日文化の日に新潟県議会議場で県教育委員会賞、県知事賞、読売新聞賞の三つの表彰をうけた。

晴れの表彰となった「雪の研究」は、前記四君の共同研究としておこなわれたもので、雪の性質について物理的、化学的両分野から研究、化学では主として塩分濃度の測定をおこない中学生の研究としてはレベルが高く賞讃された。

なお同校では、樋口安子さん（三年）滝沢文子さん（三年）の共同研究「諸条件における花粉の発芽と伸長状態」も努力賞に入選し同校の科学教育の成果が讃えられている。

喜びの豆科学者たちと石沢、竹内両先生

計画貯金で生活改善

中里農協婦人部表彰さる

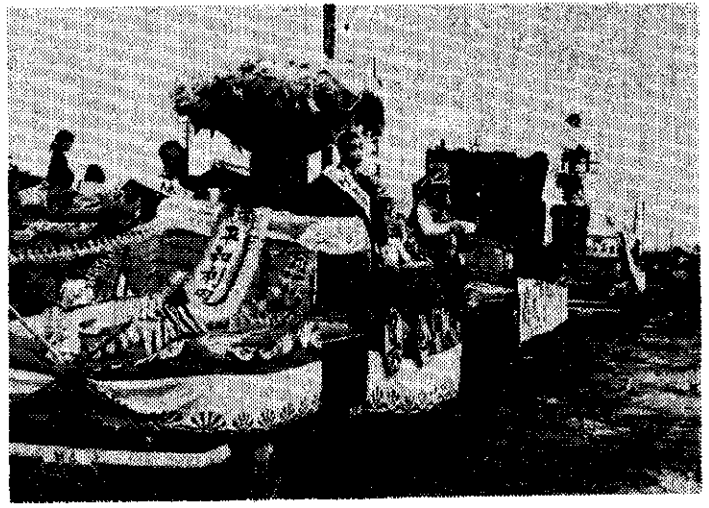
中里農協婦人部（部長井口キクエさん）では永年の貯蓄活動の努力に対して去る十月十七日「貯蓄の日」に新潟市東映ホテルの式典会場で晴れの県信連会長賞をうけた。

昨年、田沢小子ども協同組合が大蔵大臣賞、日本銀行総裁賞の栄冠に輝き、今年また晴れの表彰をうけた婦人部の親金融である中里農協金融課では次のように語っている。「貯金は積むだけでなく目的をたてて貯蓄することが大切だ。婦人部の貯金も以前は部員が義理でやっていたような実情だったが、六年ほど前から計画貯金、出し入れは自由という指導を行ない、義理や義務感をなくしてからは貯金高も増加、出し入れも頻繁となり本当の貯金の姿となってきた。いま婦人部貯金の出し入れは、積立が年間約二百五十万円。引出し約百八十万円。残高は現在約三百万円ぐらいの積立がある。引きおろされたお金は台所や室内改善、布とん新調など農家生活の主婦の受持ちになっている面の改善につかわれている。今回表彰された成果はただ貯蓄高の多少ではなく、出し入れの順調さと生活改善のための計画的貯蓄活動が認められたわけだが、そのかげには毎月集金当番にあたっている婦人部役員たちの努力は大きい」といっている。

文化祭行わる

去る十一月三日の文化の日の行事として例年のように中里村文化祭が、田沢小中学校およびグランドを会場に公民館、役場農協、商工会などの共催でおこなわれた。既報のように俳句、生花、写真、手芸、書道、絵画展をはじめ産業展、保健衛生展農機具展、生活文化展、木工展商工会仮装パレードなどが催され、雨雲りの空模様ではあったが終日各会場とも参観者でにぎわった。

村の文化祭もすでに「文化の日」の恒例行事として毎年おこなわれてきているものであるが、全般的に内容がマンネリ化しているようにみられる向きもあり、もっと村民の日頃の文化活動を反映させられるようなものにしていきたいと思う。



写真は商工会有志の仮装パレード

――お知らせ――

インフルエンザ予防接種日程

みなさんから申込みを受けていましたエンフルエンザ（感冒）予防接種の日程を次のとおり決めました。細かいことについては区長さんから連絡をしてもらうことにしていますが、当日お忘れなく接種を受けて下さい。なお申込みのなかった人でも若干余分を用意してありますから会場へお出の上、係に申出て下さい。

日時	実施地区
▽十一月十九日	
後一時～二時	土倉　倉下
前九時～十時	芋沢
〃九時～九時半	田代
▽十一月二十日	
前十時半～十一時	下山
〃十一時～十一時半	重地
後一時～二時	清田山
〃二時～三時	芋川、倉俣
▽十一月二十一日	
前十時～十一時半	高道山　朴木沢新田 白羽毛程島
〃八時半～九時	市之越鷹羽
後一時半～二時	東田尻　西田尻　西方
〃三時十五分～四時	小出　蒲沢　角間
▽十一月二十六日	
前十時～十一時	宮中　阿寺
後二時～三時	掘之内　本屋敷新屋敷
▽十一月二十八日	
後一時～四時	田沢小学校区（芋沢を除く）

国保 衛生 十一月メモ

―主なもの―

◇国保
1文化祭
2母親学級
3小出部落栄養調査
　蒲沢小出水質調査
4診療報酬実態調査
　（厚生省指定）
5母子大会
6滞納整理

◇衛生
1文化祭
2結核定期検診
　同右精密検診
3乳児先天股脱検診
4インフルエンザ予防接種